

平成17年度 決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,190	19,190	0	
施設整備費補助金	1,168	1,173	5	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	1,993	5,978	3,985	(注2)
補助金等収入	-	147	147	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	82	82	-	
自己収入	26,909	27,810	901	
授業料、入学料及び検定料収入	8,055	7,792	△ 262	(注3)
附属病院収入	18,535	19,686	1,151	(注4)
財産処分収入	-	2	2	
雑収入	319	328	9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,073	3,499	426	(注6)
長期借入金	2,551	2,547	△ 3	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	43	43	
計	54,966	60,472	5,506	
支出				
業務費	37,666	42,977	5,311	(注7)
教育研究経費	21,268	21,920	652	
診療経費	16,398	21,056	4,658	
一般管理費	6,280	988	△ 5,291	
施設整備費	3,801	3,802	1	(注8)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	147	147	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,073	3,204	131	(注9)
貸付金	-	8	8	
長期借入金償還金	4,146	8,115	3,969	(注10)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	0	0	
計	54,966	59,245	4,279	
収入-支出	-	1,226	1,226	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、平成17年度補正予算等が措置されたため、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。

(注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が3,985百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため、予算金額に比して決算金額が262百万円少額となっています。

(注4) 附属病院収入については、手術件数が増加したことなどにより予算金額に比して決算金額が1,151百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として附属学校給食費収入等により、予算金額に比して決算金額が9百万円多額となっています。

(注6) 予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して426百万円決算金額が多額となっています。著作権及特許権等収入は、産学連携等研究収入及び寄附金収入等に計上しており、予算金額0百万円、決算金額7百万円、その差額は7百万円多額となっています。

(注7) 業務費及び一般管理費について、会計基準に基づいた区分により決算額を計上しており差額が生じています。

(注8) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が百万円多額となっています。

(注9) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が131百万円多額となっています。

(注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が3,969百万円多額となっています。

○損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

(1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。

(2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。

(3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。

(4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は、負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また、損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は、財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。